

部局名	安全環境部	所属名	総合防災課	所属長名	知脇 幹雄	電 話	483-1151 内線2291
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード		3056		事務事業名称		災害対策施設整備等事業						短縮コード		経常	3056		臨時	3057						
予算区分		会計	01	一般会計			款	02	総務費				項	01	総務管理費				目	08	災害対策費			
区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他					根拠法令等		災害対策基本法，地震防災対策特別措置法，八千代市防災会議条例，八千代市災害対策本部条例，八千代市防災行政用無線局管理運用規程，八千代市地域防災計画，武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律															
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																								
市民の生命，身体及び財産を災害から保護するため，八千代市地域防災計画に基づき，防災行政用無線・災害用井戸・防災資機材の整備，非常用食糧等の備蓄等を行い，災害に対する総合的な対策を実施する事業です。																								
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測 3月11日に発生した東日本大震災を契機に，八千代市地域防災計画の見直しの必要がある。							総合計画の施策体系	5本の柱（章）		03		安全・環境共生都市をめざして												
								大項目（節）		01		市民の安全												
								中 項 目		01		防災												
								小項目（施策）		01		災害予防体制の充実												
										02		災害応急対策の充実												
								細 項 目		01		地域防災計画の確立												
										01		情報連絡体制の強化												
								実施計画の計画事業		3103		防災行政用無線整備事業												
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成17年4月 ～ 平成23年3月				計画事業費		千円											

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	八千代市地域防災計画，防災会議委員，防災行政用無線，防災倉庫，災害用井戸，防災備蓄品，防災関係機関・公共団体・民間事業者，八千代市国民保護計画											
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： 1. 防災会議の開催，2. 防災行政用無線の整備及び維持管理，3. 防災倉庫・災害用井戸・備蓄品の整備及び維持管理，4. 災害時協力協定の締結，5. 災害時協力井戸の確保，6. 防災対策及び災害対応に係る一般事務											
	※平成23年度に計画していること： 1. 防災会議の開催，2. 防災行政用無線の維持管理，3. 防災情報メールの配信，4. 防災倉庫，災害用井戸の維持管理，5. 備蓄品の整備及び維持管理，6. 災害時協力協定の締結，7. 災害時協力井戸の確保，8. 防災対策及び災害対応に係る一般事務											
意図 （何を狙っているのか）	地域防災計画を推進する。災害時に迅速かつ正確な情報を伝達できるようにする。 防災施設及び備蓄品の整備等を行い，災害時に機能するようにする。 災害時に防災関係機関・公共団体・民間事業者等の協力を得られるようにする。											
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外											
区 分					単位	2 1 年度		2 2 年度		2 3 年度		
						実績		計画		実績		計画
対象指標	指標 1	整備計画目標の防災行政用無線子局数			局	117		117		117		117
	指標 2	整備計画目標の非常用食糧数			食	196,000		196,000		196,000		218,000
	指標 3	整備計画目標の災害用トイレ数			基	245		245		245		273
活動指標	指標 1	当該年度に設置した防災行政用無線子局数			局	0		1		1		0
	指標 2	当該年度に備蓄した非常用食糧数			食	0		2,500		2,550		4,020
	指標 3	当該年度に備蓄した災害用トイレ数			基	0		5		5		0
成果指標	指標 1	整備目標に対する整備済みの防災行政用無線子局の割合			%	99.1		100		100		100
	指標 2	整備計画目標に対する備蓄済みの非常用食糧の割合			%	58.7		59.2		58		53.7
	指標 3	整備計画目標に対する備蓄済みの災害用トイレの割合			%	71.4		73.5		73.5		66
上位成果指標	指標 1											
	指標 2											
	指標 3											

コード	3056	事務事業名称	災害対策施設整備等事業				所属名	総合防災課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			この事業は、八千代市地域防災計画に基づき、防災施設及び備蓄品の整備等を行い、災害に対する総合的な対策を行う事業であるが、災害時協力協定による物資の供給等により、改革・改善して継続する。 また、八千代市地域防災計画の見直しの検討を行う。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			成果，コストは不変であるが，災害時協力協定による物資の供給等により，安定的供給を図る。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
安全な避難場所の整備が求められている。（第8回八千代市市民意識調査より） 情報伝達体制の充実・強化が求められている。（第8回八千代市市民意識調査より） 防災行政用無線が聞きづらいなど意見，苦情が寄せられている。									

所属長コメント	市民の生命，身体及び財産を災害から保護するため，災害時協力協定による物資の供給等，関係機関等との調整を行い鋭意進めていくこととする。								
	評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			安定的な供給を図るため，災害時協力協定の締結推進を図ること。また，八千代市地域防災計画の見直しの検討を行うこと。				
		☒ 手法プロセスの改革・改善							
		☐ 事業規模の拡大・縮小							
		☐ 統合・役割見直し							
☐ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									